

# ベランダ／バルコニーへの設置方法

## 1. 測る 始めにベランダ／バルコニーの面積を計測します。



障害物(排水溝や雨戸袋など)を除いたベランダ／バルコニーの床面積から、〈タイルユニット〉の必要枚数(1枚:30×30cm)を割り出します。

### Check Point

- 〈タイルユニット〉には床面積にあわせてカットできるように、タイル間に目地が付いています。端数がタイルサイズで割り切れるときは、〈タイルユニット〉自体をカットして使用します。  
※タイル部は、カット面のバリなどによるけがのおそれや、商品同士が連結できなくなることで飛散しやすくなるので、カットできません。
- 10cm(または15cm)で割り切れないときは、50角タイプや、16.5mmピッチの溝がある〈幅調整材〉を使用すると便利です。

※設置の際には、必ず手袋などを着用してください。

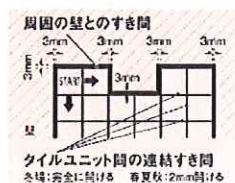
## 2. 並べる 仮置きで全体のイメージを把握してください。



仮置きで配置の確認ができたなら、しっかりと固定するために、フックを「パチン」と音がするまで押し込んでください。

### Check Point

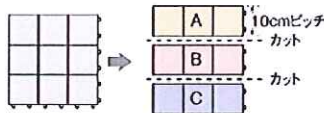
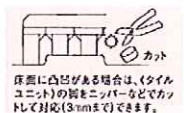
- 気温変化による樹脂ユニットの伸び縮みを吸収させるため、〈タイルユニット〉の連結すき間や壁との間に2～3mm程度のすき間が必要です。
- ユニット同士の連結部フック穴は長穴になっており、設置時のフックはめ込み位置を変えることで、すき間の調整ができます。(最も内側に寄せてはめ込んだ場合、ユニット間のすき間は自動的に約2mmになります。)



## 3. 敷きつめる ベランダ／バルコニー端部はカットしてはめ込みます。



端部の半端スペースにあわせて、〈タイルユニット〉をカッターなどでカットし、パズルのピースをはめ込むように敷きつめます。



### Check Point

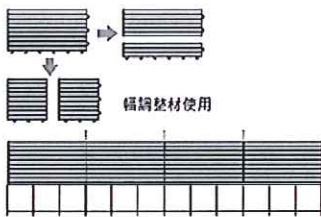
- 〈タイルユニット〉のカットは刃の太い、工具用のカッターの方が適しています。  
※タイル部は、カット面のバリなどによるけがのおそれや、商品同士が連結できなくなることで飛散しやすくなるので、カットできません。
- 〈タイルユニット〉の凸型の連結フックがちょうど端に来た場合は余ったフックをカットしてください。
- 〈幅調整材〉の溝と直角にカットする場合は、ノコギリが使いやすいです。  
※幅調整材のカットした際は、はめ込みができませんので、ご注意ください。  
※パーセアは全シリーズの連結部が共通です。数種のシリーズを組み合わせて施工することができます。



## すき間と段差処理の方法 最後の仕上げはすき間を処理して完成です。



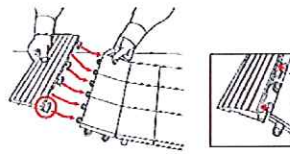
さらに細かなすき間や、障害物のまわりが気になる方は、カットした〈幅調整材〉を足すことでピッタリと配置できます。



スロープ材で段差も軽減、端部もスッキリ。

タイルユニットのフックあり側に連結する場合

タイルユニットを少し持ち上げ、フック部をスロープ材の側面の穴に差し込んで連結させます。



タイルユニットのフックなし側に連結する場合

タイルユニットを少し持ち上げ、裏足をスロープ材に上から差し込んで連結させます。



※強風が予想される場所では、設置不可もしくは「飛散防止部材」の併用が必須となります。詳しくは、P.27をご参照ください。  
 ※パーセアは高品質厚みが2種類あります。これにより異なるシリーズを同一面に張り合わせることで段差を生じる場合がありますが、危険を伴うものではありません。高い商品(28mm)には段差軽減のためテーバー加工をしております。

### 幅調整材／スロープ材／飛散防止部材

#### ●幅調整材



AP003C  
カラー：ナッツブラウン



AP003D  
カラー：カームグレー

#### ●スロープ材【平】



AP004C  
カラー：ナッツブラウン



AP004D  
カラー：カームグレー

#### ●スロープ材【コーナー】



AP005C  
カラー：ナッツブラウン



AP005D  
カラー：カームグレー

#### ●飛散防止部材【平】



AP006C  
カラー：ナッツブラウン



AP006D  
カラー：カームグレー

#### ●飛散防止部材【コーナー】



AP007C  
カラー：ナッツブラウン



AP007D  
カラー：カームグレー

#### スロープ材納まり例



※パーセアを少数で部分的に敷いた場合、急な飛び出しなどによりタイルユニットがずれて転倒するおそれがあります。

## コーナーも思いのままに美しく設置できます。



周辺部分のアレンジで、トータルにグレードアップ。

パーセアと壁のすき間に、玉砂利を敷きつめるだけでグレードアップした印象のベランダ／バルコニーに様変わりします。



組み合わせを工夫して、ハイセンスな空間を演出。

コーナーの演出しだいでさまざまな趣きの空間も可能です。例えば、水と玉砂利をあしらうだけで、和の趣きを持った空間に変身。



50角タイルを使用すれば、端部の仕上がりもスッキリ。

MNシリーズは、5cmごとにカットできるので、外壁や柱などの角もきれいにスッキリと仕上がります。

### 幅調整材の利用方法



排水場所もしっかり確保。  
16.5mmピッチでサイズ調整が可能。



すき間にもピッタリフィット。  
避難口まわりの狭い場所にも対応。